

第2日 1月25日(土) 午後の部

(17) 数学部会 (中・高)	部会テーマ	教科の専門性を磨いて、新たな学びへと進化を目指す
内 容	これからの社会を生き抜く子どもたちには、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現していく力が必要である。学習指導要領の改訂に込められたこの願いを実現するため、新学習指導要領のポイントや、授業実践例などを共有しながら、教科の専門性を磨き、授業の創意工夫や改善を考える。	
司 会 者	総合教育センター 水井ゆかり	
記 録 係	総合教育センター 庄司 由夏	企画・会場係 総合教育センター 飯塚 久宣

実践発表 1

知識構成型ジグソー法を用いた中学校数学科の授業改善

～事象を数理的に捉える力に着目して～

栃木市立都賀中学校 渡部 智裕

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、知識構成型ジグソー法に着目し、研究を行った。授業実践にどのように生かし、どのような資質・能力の向上が見込めるか考察した結果を発表する。

実践発表 2

「教科指導体制研究」の成果

～資質・能力の評価と育成 8つの力×学力の三要素～

県立真岡高等学校 小林 武夫
県教委事務局高校教育課 松本 秀則

2年間、教科指導体制研究の指定を受け、新学習指導要領を踏まえた評価規準の作成を行ってきた。「生徒に身に付けさせたい力」という視点で具体的に八つの項目に整理し、それらと学力の三要素の関係を基にした生徒の自己評価の実施に向けての取組を報告する。

研究協議

生徒に身に付けさせたい資質・能力

全体協議

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」

～教科間の連携を図る～